

令和7年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 開催日時：令和7年12月12日（金） 15:30～17:00

2 開催場所：池田高等学校 校長室

3 運営協議会メンバー

①運営協議会委員（委嘱委員）

会長 中西 周次 （学識経験者）大阪大学教授
(欠席) 田渕 正樹 （学校の運営に資する活動を行う者）同窓会会长
鍋島 浩 （学校の運営に資する活動を行う者）後援会会长
(欠席) 畠中 伸一 （地域住民）池田市立石橋中学校校長
太田 高正 （地域住民）吳羽会自治会長
(欠席) 天野 亮 （保護者）PTA会長

②事務局員（校内出席者）

尾上 大 校長
亀山 司 （事務局長）教頭
木村 裕 （事務局員）事務長
川田 明寛 （事務局員）首席
小西 義治 （事務局員）首席
高田 萌乃 （記録）教諭

4 内容

- (1) 学校経営計画の進捗状況について
- (2) 学校教育自己診断について
- (3) 採択教科用図書について
- (4) その他

5 協議事項

- (1) 学校経営計画の進捗状況について

校長より、配付資料に基づき実施要項の説明

1) 「主体的・対話的で深い学び」について

授業見学週間を設定し、授業互見を推進したことが要因のひとつとなり、第1回授業アンケートでは「考えを述べたり、生徒同士が学び合ったりする時間を授業に取り入れている」という項目の数値が向上したと説明。

2) 「個別最適な学び」について

スタディサプリの視聴時間は、講義動画ではなくテストのみを実施する教科もあるため、目安の一つとして捉え、ガイダンスで効果的な利用方法を説明するなどの支援によって、自学自習の推進を図っていることを説明。校内予備校は校内事情を踏まえ、今年度は1・2年生のみ実施。募集方法を変更したことで参加者は減少しましたが、アンケート結果では概ね高い満足度が得られていることを説明。

・意見交換

委員 校内予備校をどのレベル設定で依頼しているのか。

学校 共通テストなどの大学入試に特化した内容で依頼している。

3) 国際理解教育の推進、実践的英語力の向上について

○姉妹高校交流について

校長より、別添資料に基づき概要説明

校内のニーズに対応するため、オーストラリアに加え、イギリスなど、エリアや内容に差別化を図った企画を検討していることを説明。

4) 中学校や地域社会に対する情報発言について

校長より、配付資料に基づき実施要項の説明

私立学校無償化の影響により、入学希望人数の減少が懸念されることを説明

・意見交換

委員 池田高校が支持されている理由について、分析をしているのか。

学校 過去の倍率状況の分析のほか、保護者や中学生から寄せられる声を踏まえ、池田高校が支持されている理由として、自由でありながら落ち着いた雰囲気や、進学と部活動の両立が可能な環境が挙げられると考えています。

5) 「DXハイスクール」事業について

校長より、別添資料に基づき概要説明

「ブロック別取り組み実践発表会」に参加し、大阪成蹊大学や池田市商工会議所との連携を発表したことを説明

委員 DX推進に伴い、従来の学習や業務で培われてきたスキルやテクニックが失われる可能性がある。そうした部分に焦点を当てることで、DXの活用方法をより深く考える機会になるのではないか。

学校 いただいた意見を踏まえ、今後の取り組みを検討したい。

(2) 学校教育自己診断について

教頭より、配付資料に基づき実施要項の説明

経年変化を見ることがあるため、昨年同様の項目で、Google フォームにより、実施予定であると説明。

(3) 採択教科用図書について

教頭より、配付資料に基づき実施要項の説明

(4) その他

次回 2月20日(金) 15:30～ 校長室